

教科等横断型授業「 体育 」×「 理科 」 学習指導案

SDGsでの課題	SDGsの番号(3 番)「 すべての人に健康と福祉を 」				
実社会での課題	運動の分野において若者の筋力やコーディネーション能力の低下は心配な課題である。体力の向上は健康の保持増進はもちろん、学力向上・精神的成長にも密接な関係がある。サッカー初心者や運動経験の少ない生徒にとってボールを足で操作する動きは困難であるが、運動の技術的特性を生物学的分野からわかりやすく理解させることで技術と体力の向上を図り、興味を持たすことで継続的な運動習慣の確立に努める。				
生徒に身に付けさせたい資質・能力	サッカーの技術において「ボールを正確に蹴る・コントロールする」ことは基本技術であるが、非日常的な動作であるため初心者には困難である。蹴る感覚を習得するために今回は生物学的側面から動作を説明し技術向上につなげる。ボールコントロールの楽しさと前向きに挑戦する積極的な取り組みの育成を目指す。				
主題(教材)	球技(サッカー)				
	学 習 活 動	時 間	指 導 上 の 留 意 事 項	資 料 等	
指 導 展 開 程 序	導 入	<ol style="list-style-type: none"> 1 出席確認・健康観察 2 本時の目標の確認 3 準備運動 	10	<ul style="list-style-type: none"> ・健康状態を確認させる。 ・本時の目標を説明し習得スキルを明確にする。 ・動きの準備ができるようにしっかり準備運動を行わせる。 	サッカーボール マーカー iPad 大型TV
	展 開	<ol style="list-style-type: none"> 1 リフティング・対人パスによるアップ (1)リフティング10回を目標 (2)対人パス 2 インステップキック実践Ⅰ (1)生物学的視点から動きを分析・指導 3 インステップキック実践Ⅱ (1)キックを実践し動きを録画検証 (2)プロの動きを参照 	5 10 15	<ul style="list-style-type: none"> ・ボールの真下かつ中心をとらえ、回転を意識させる。 ・つま先周辺の同じポイントで蹴る。 ・インサイド・アウトサイド等で対人パスを行わせる。 ・生物学的視点から体の動きを説明し正しい動作を考えさせる。 ・置いたボールでインステップキックの実技をさせる。 ・自身の動きを録画し検証させる。 ・プロの動作を参考に自分の動きを修正させる。 	行動観察 評価(知・技) 行動観察 評価(思・判・表) 評価(主体的) 評価(思・判・表)
	整 理	<ol style="list-style-type: none"> 1 本時のまとめ 2 健康観察 整理運動 3 次時の予告 	5	<ul style="list-style-type: none"> ・キックスキルの整理をする。 ・健康観察を行い次時の内容を確認する。 	
	備 考	1・2年生(男子6名)計6名			

